

---

# ANA VISION 2006

---

第57期 中間報告書

(2006年4月1日～ 2006年9月30日)

## 株主の皆様へ

## ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

当社第57期中間報告書「ANA VISION」をお届けするにあたり、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

当中間期においては、国内線旅客事業、国際線旅客事業、貨物事業ともに需要が堅調に推移し、過去最高の営業収入となりました。高値の続く航空機燃料費をはじめとする営業費用も増加したため、営業利益・経常利益は前年同期比で微減となりましたが、当期純利益も過去最高となりました。

当下半期から、5年ぶりに成田～シカゴ線を再開し、中国線等の増便も行って、国際線路線ネットワークの拡充を図ります。

また、ホテル事業では、12月1日から世界最大のホテルチェーンであるインターコンチネンタル ホテルズ グループと資本提携を行い、来年4月に東京全日空ホテルをANAインターコンチネンタルホテル東京にリブランドすることを皮切りに、合同ブランドでホテル運営をしていくことに致しました。

ANAグループは今後もたゆまぬ挑戦を続けて参ります。株主の皆様におかれましては、変わらぬご指導とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2006年11月

代表取締役社長 **山元 肇生**



## 中間連結財務諸表

2006年4月1日～2006年9月30日

決算に関する資料等は当社ホームページでもご覧いただけます。  
HP( <http://www.ana.co.jp> ) → IR情報 → 決算情報 → 決算短信

本文中の記載金額、数量は表示単位未満の端数を切り捨てております。

## ANAグループ(連結)

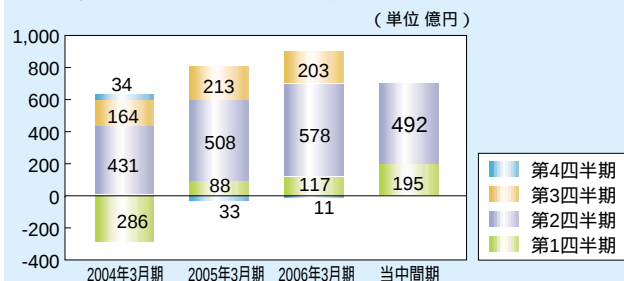
### 中間期の概況

- 当中間期の連結業績は好況を背景に売上高は過去最高を記録、また減損損失を計上した前中間期と比べ特別損益が大幅に改善したこと等から中間純利益も大幅な増益となり、過去最高の水準を記録しました。
- 主力の航空運送事業においては、ビジネス需要を中心に旅客需要が堅調に推移したこと等により増収となりました。
- 原油価格が依然高水準にとどまっているなか、引き続き運航コストの削減を徹底してその影響を最小限にとどめる努力を続け、営業利益はほぼ前中間期並を確保することができました。

### ■ 経営成績

|       | 当中間期  | 前中間期  | 増減  | 前年同期比<br>(%) |
|-------|-------|-------|-----|--------------|
| 営業収入  | 7,528 | 6,909 | 619 | 109.0        |
| 営業費用  | 6,840 | 6,213 | 627 | 110.1        |
| 営業利益  | 687   | 695   | 8   | 98.8         |
| 営業外損益 | 107   | 101   | 6   | -            |
| 経常利益  | 579   | 594   | 14  | 97.6         |
| 特別損益  | 11    | 147   | 136 | -            |
| 当期純利益 | 332   | 197   | 135 | 168.8        |

### ■ 四半期ごとの営業利益の推移



## 航空運送事業の売上高

|        |          | 事業年度  | 当中間期<br>(2006年4月1日から<br>2006年9月30日まで) | 前中間期<br>(2005年4月1日から<br>2005年9月30日まで) | 増 減 |
|--------|----------|-------|---------------------------------------|---------------------------------------|-----|
| 航空運送事業 | 国内線      | 旅客収入  | 3,729                                 | 3,543                                 | 186 |
|        |          | 貨物収入  | 151                                   | 145                                   | 6   |
|        |          | 郵便収入  | 45                                    | 39                                    | 6   |
|        |          | 手荷物収入 | 1                                     | 1                                     | 0   |
|        |          | 小 計   | 3,928                                 | 3,729                                 | 198 |
|        | 国際線      | 旅客収入  | 1,382                                 | 1,152                                 | 230 |
|        |          | 貨物収入  | 285                                   | 256                                   | 29  |
|        |          | 郵便収入  | 16                                    | 13                                    | 2   |
|        |          | 手荷物収入 | 2                                     | 2                                     | 0   |
|        |          | 小 計   | 1,686                                 | 1,424                                 | 262 |
|        | 航空事業収入合計 |       | 5,614                                 | 5,154                                 | 460 |
|        | その他の収入   |       | 678                                   | 579                                   | 98  |
|        | 合 計      |       | 6,293                                 | 5,733                                 | 559 |

(注) 事業区分内の内訳は内部管理上採用している区分によっています。  
各収入は事業区分(セグメント)間の売上高を含んでおります。

### ● 連結対象会社の状況

(2006年9月30日現在)

連結子会社 98社(新規連結3社・除外3社)  
持分法適用会社23社(新規なし・除外なし)

## 輸送実績

| 事業年度 |                       | 当中間期<br>(2006年4月1日から<br>2006年9月30日まで) | 前中間期<br>(2005年4月1日から<br>2005年9月30日まで) | 前年同期比<br>(%) |
|------|-----------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|--------------|
| 国内線  | 旅 客 数( 万 人 )          | 2,339                                 | 2,327                                 | 100.5        |
|      | 座 席 キ ロ( 億 席 キ ロ ) *1 | 314                                   | 309                                   | 101.7        |
|      | 旅 客 キ ロ( 億 人 キ ロ ) *2 | 204                                   | 203                                   | 100.8        |
|      | 利 用 率( % ) *3         | 65.1                                  | 65.7                                  | 0.6          |
|      | 貨物輸送重量( 千 ト ン )       | 223                                   | 210                                   | 106.4        |
|      | 貨物輸送量( 百万トンキロ)        | 216                                   | 203                                   | 106.1        |
|      | 郵便輸送重量( 千 ト ン )       | 44                                    | 40                                    | 109.5        |
|      | 郵便輸送量( 百万トンキロ)        | 47                                    | 43                                    | 110.5        |
| 国際線  | 旅 客 数( 万 人 )          | 223                                   | 199                                   | 112.0        |
|      | 座 席 キ ロ( 億 席 キ ロ ) *1 | 128                                   | 125                                   | 101.9        |
|      | 旅 客 キ ロ( 億 人 キ ロ ) *2 | 99                                    | 92                                    | 107.9        |
|      | 利 用 率( % ) *3         | 77.9                                  | 73.5                                  | 4.4          |
|      | 貨物輸送重量( 千 ト ン )       | 127                                   | 117                                   | 108.5        |
|      | 貨物輸送量( 百万トンキロ)        | 577                                   | 543                                   | 106.2        |
|      | 郵便輸送重量( 千 ト ン )       | 7                                     | 6                                     | 109.1        |
|      | 郵便輸送量( 百万トンキロ)        | 31                                    | 28                                    | 113.4        |

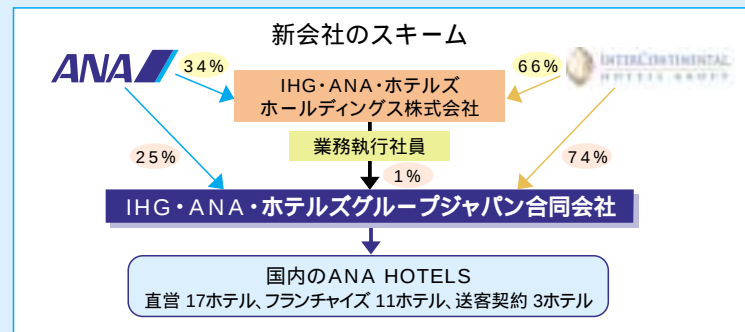
(注) \*1. 座席キロ: (座席数) × (運航キロメートル)  
\*2. 旅客キロ: (旅客数) × (運航キロメートル)  
\*3. 利用率: (旅客キロ) ÷ (座席キロ)  
4. 国内線にはIBEXエアラインズ(株)、北海道国際航空(株)およびスカイネットアジア航空(株)とのコードシェア便実績を含みます。  
5. 国際線にはユナイテッド航空(成田～ニューヨーク線、関西～ホノルル線)およびエバー航空とのコードシェア便実績を含みます。  
6. 国内線、国際線ともにチャーター便実績を除いております。  
7. 国内線深夜貨物定期便実績を含みます。

## トピックス ホテル運営でインターコンチネンタル ホテルズ グループと資本提携



ANAグループは去る10月23日、世界最大規模のホテルチェーン「インターコンチネンタル ホテルズ グループ」(以下IHGと称す)と資本提携を行い、国内31か所のANAホテルについて共同で運営を行っていくことを発表いたしました。IHGの持つ卓越したホテル運営のノウハウや世界的なネットワークを活かしANAホテルズの価値をより高めていく所存です。また、同時にマイレージサービスでも提携し11月1日からは全世界のIHGのホテルの宿泊でANAのマイルが積算できるようになりました。

具体的には、ANAのホテル運営子会社である株式会社ANAホテルズ&リゾートを合同会社(LLC)に改組した上で、IHG米国法人子会社の出資を得て「IHG・ANA・ホテルズグループジャパン合同会社」(資本金8億3,000万円)と改称し、共同で運営を行います。さらに共同出資により同合同会社の経営を管理する新会社「IHG・ANA・ホテルズホールディングス株式会社」(資本金2,300万円)を新設しました。



### ■ インターコンチネンタル ホテルズ グループ概要

本部 英国  
運営ホテル数 約3,650ホテル  
客室数 約54万室  
ホテルブランド インターコンチネンタル ホテルズ&リゾート  
クラウンプラザ ホテルズ&リゾート  
ホリデイ・イン ホテルズ&リゾート など

### ■ ANAホテルズ概要

運営ホテル数 国内31ホテル、海外2ホテル  
客室数 9,664室

\*上記にはフランチャイズ、リファーマル(送客)契約ホテルを含みます。

ANAグループ(連結)

中間連結貸借対照表

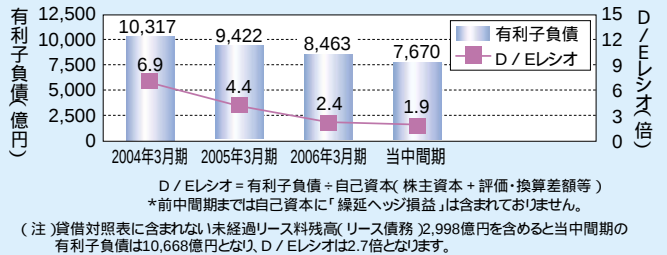
(単位: 億円)

|          | 当中間期<br>(2006年9月30日現在) | 前期中間期<br>(2006年3月31日現在) |
|----------|------------------------|-------------------------|
| 資産の部     |                        |                         |
| 流動資産     | 4,992                  | 5,303                   |
| 現金及び預金   | 2,340                  | 2,344                   |
| 営業未収入金   | 1,232                  | 1,133                   |
| 有価証券     | 38                     | 246                     |
| たな卸資産    | 621                    | 579                     |
| 繰延税金資産   | 123                    | 235                     |
| その他      | 635                    | 764                     |
| 固定資産     | 11,394                 | 11,354                  |
| 有形固定資産   | 9,335                  | 9,274                   |
| 建物及び構築物  | 1,625                  | 1,656                   |
| 航空機      | 5,363                  | 4,923                   |
| 土地       | 973                    | 978                     |
| 建設仮勘定    | 1,046                  | 1,396                   |
| その他      | 327                    | 318                     |
| 無形固定資産   | 423                    | 418                     |
| 投資その他の資産 | 1,634                  | 1,662                   |
| 投資有価証券   | 637                    | 608                     |
| 繰延税金資産   | 388                    | 427                     |
| その他      | 608                    | 625                     |
| 繰延資産     | 7                      | 10                      |
| 資産合計     | 16,394                 | 16,668                  |

|                | 当中間期<br>(2006年9月30日現在) | 前期中間期<br>(2006年3月31日現在) |
|----------------|------------------------|-------------------------|
| 負債の部           |                        |                         |
| 流動負債           | 4,642                  | 4,808                   |
| 支払手形及び営業未払金    | 1,871                  | 1,707                   |
| 短期借入金          | 59                     | 86                      |
| 一年以内に返済する長期借入金 | 746                    | 957                     |
| 一年以内に償還する社債    | 450                    | 450                     |
| 賞与引当金          | 191                    | 141                     |
| その他            | 1,322                  | 1,465                   |
| 固定負債           | 7,735                  | 8,325                   |
| 社債             | 1,950                  | 2,400                   |
| 長期借入金          | 4,464                  | 4,568                   |
| 退職給付引当金        | 1,109                  | 1,073                   |
| その他            | 212                    | 282                     |
| 負債合計           | 12,377                 | 13,134                  |
| (有利子負債)        | 7,670                  | 8,463                   |
| 少数株主持分         | -                      | 71                      |
| 資本の部           |                        |                         |
| 資本金            | -                      | 1,600                   |
| 資本剰余金          | -                      | 1,256                   |
| 利益剰余金          | -                      | 526                     |
| その他有価証券評価差額金   | -                      | 94                      |
| 為替換算調整勘定       | -                      | 3                       |
| 自己株式           | -                      | 10                      |
| 資本合計           | -                      | 3,463                   |
| 負債、少数株主持分、資本合計 | -                      | 16,668                  |
| 純資産の部          |                        |                         |
| 株主資本           | 3,651                  | -                       |
| 資本金            | 1,600                  | -                       |
| 資本剰余金          | 1,257                  | -                       |
| 利益剰余金          | 801                    | -                       |
| 自己株式           | 6                      | -                       |
| 評価・換算差額等       | 286                    | -                       |
| その他有価証券評価差額金   | 87                     | -                       |
| 繰延ヘッジ損益        | 205                    | -                       |
| 為替換算調整勘定       | 6                      | -                       |
| 少数株主持分         | 78                     | -                       |
| 純資産合計          | 4,016                  | -                       |
| 負債純資産合計        | 16,394                 | -                       |

\*当期より「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」を適用しております。

有利子負債・D / Eレシオ



中間連結損益計算書

(単位: 億円)

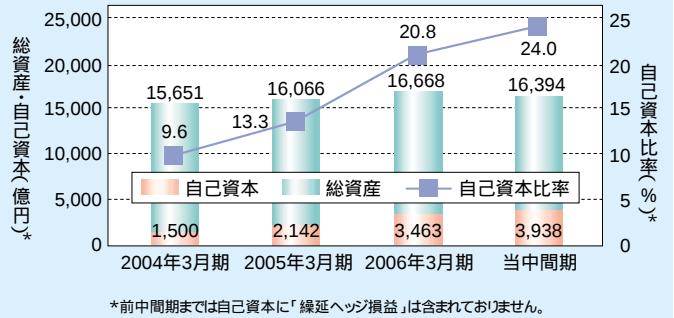
|               | 当中間期<br>(2006年4月1日から<br>2006年9月30日まで) | 前期中間期<br>(2005年4月1日から<br>2005年9月30日まで) |
|---------------|---------------------------------------|----------------------------------------|
| 営業収入          | 7,528                                 | 6,909                                  |
| 営業費用          | 6,840                                 | 6,213                                  |
| 営業利益          | 687                                   | 695                                    |
| 営業外収益         | 69                                    | 82                                     |
| 営業外費用         | 177                                   | 183                                    |
| 経常利益          | 579                                   | 594                                    |
| 特別利益          | 22                                    | 71                                     |
| 特別損失          | 33                                    | 219                                    |
| 税引前中間純利益      | 568                                   | 446                                    |
| 法人税、住民税及び事業税  | 210                                   | 325                                    |
| 法人税等調整額       | 19                                    | 56                                     |
| 少数株主利益又は損失( ) | 5                                     | 19                                     |
| 中間純利益         | 332                                   | 197                                    |

航空運送事業セグメント営業費用内訳

(単位: 億円)

|          | 当中間期<br>(2006年4月1日から<br>2006年9月30日まで) | 前期中間期<br>(2005年4月1日から<br>2005年9月30日まで) | 増減  |
|----------|---------------------------------------|----------------------------------------|-----|
| 燃油費・燃料税  | 1,092                                 | 840                                    | 252 |
| 空港使用料    | 524                                   | 506                                    | 18  |
| 航空機材賃借費  | 437                                   | 450                                    | 13  |
| 減価償却費    | 379                                   | 327                                    | 52  |
| 整備部品・外注費 | 311                                   | 270                                    | 40  |
| 人件費      | 1,166                                 | 1,115                                  | 50  |
| 販売手数料    | 449                                   | 395                                    | 53  |
| 外部委託費    | 389                                   | 353                                    | 35  |
| その他      | 933                                   | 846                                    | 87  |
| 合計       | 5,685                                 | 5,107                                  | 578 |

総資産・自己資本推移



本文中の記載金額、数量は表示単位未満の端数を切り捨てております。

事業別セグメント情報

(単位: 億円)

|        |          | 当中間期<br>(2006年4月1日から<br>2006年9月30日まで) | 前期中間期<br>(2005年4月1日から<br>2005年9月30日まで) |
|--------|----------|---------------------------------------|----------------------------------------|
| 航空運送事業 | 国内線      | 3,928                                 | 3,729                                  |
|        | 国際線      | 1,686                                 | 1,424                                  |
|        | その他      | 678                                   | 579                                    |
|        | 営業収入計    | 6,293                                 | 5,733                                  |
|        | 営業費用     | 5,685                                 | 5,107                                  |
| 旅行事業   | 営業利益     | 607                                   | 626                                    |
|        | 営業収入     | 1,090                                 | 1,041                                  |
|        | 営業費用     | 1,065                                 | 1,014                                  |
| ホテル事業  | 営業利益     | 24                                    | 26                                     |
|        | 営業収入     | 334                                   | 323                                    |
|        | 営業費用     | 302                                   | 313                                    |
| その他の事業 | 営業利益     | 31                                    | 9                                      |
|        | 商事・物販    | 712                                   | 630                                    |
|        | 情報通信     | 123                                   | 122                                    |
|        | その他      | 159                                   | 175                                    |
|        | 営業収入計    | 995                                   | 928                                    |
|        | 営業費用     | 971                                   | 898                                    |
| 連結営業利益 | 営業利益     | 23                                    | 29                                     |
|        | 営業収入計    | 8,713                                 | 8,027                                  |
|        | セグメント間消去 | 1,184                                 | 1,118                                  |
|        | 連結営業収入   | 7,528                                 | 6,909                                  |
|        | 営業費用計    | 8,025                                 | 7,334                                  |
| 連結営業費用 | セグメント間消去 | 1,184                                 | 1,121                                  |
|        | 連結営業費用   | 6,840                                 | 6,213                                  |
|        | 連結営業利益   | 687                                   | 695                                    |

**航空運送事業** 国内線は堅調なビジネス需要に加え、「旅割」等の導入で個人旅行需要の喚起を図った結果、旅客数は前期中間期を若干上回り、運賃改定等による旅客単価の向上もあって増収となりました。国際線はビジネス、旅行需要とも概ね好調に推移して旅客数、収入とも大幅に増加しました。貨物事業は国内線の深夜貨物定期便を拡充し、国際線では貨物専用機を増機したこと等から取扱重量、収入とも前期中間期に比べ増加しました。

**旅行事業** 国内、海外ともに旅行需要は堅調に推移するなか、積極的に新たな企画商品投入したこともあり増収となりましたが、燃油費高騰による仕入値の上昇等により営業減益となりました。

**ホテル事業** 旗艦ホテルである東京をはじめ各ホテルとも概ね景気回復を背景に増収増益となりました。なお、当中間期において沖縄地区の2ホテルをグループ外へ譲渡しました。

**その他の事業** 本セグメントの売上の過半を占める全日空商事(株)(商事・物販業)が増収増益となったこと等から増収となりましたが、前期に全日空ビルディング(株)の一般向け賃貸事業をグループ外へ譲渡したこと等により営業利益は前期中間期を下回りました。

連結キャッシュ・フロー

(単位: 億円)

|                     | 当中間期<br>(2006年4月1日から<br>2006年9月30日まで) | 前期中間期<br>(2005年4月1日から<br>2005年9月30日まで) |
|---------------------|---------------------------------------|----------------------------------------|
| 1. 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,138                                 | 864                                    |
| 2. 投資活動によるキャッシュ・フロー | 355                                   | 401                                    |
| 3. 財務活動によるキャッシュ・フロー | 838                                   | 370                                    |
| 4. 現金及び現金同等物の換算差額   | 1                                     | 5                                      |
| 5. 現金及び現金同等物増減額     | 56                                    | 97                                     |
| 6. 現金及び現金同等物の期末残高   | 2,371                                 | 1,730                                  |

(参考)当中間期の設備投資額1,220億円(前期中間期1,346億円)

# 中間連結財務諸表

2006年4月1日～2006年9月30日

決算に関する資料等は当社ホームページでもご覧いただけます。  
HP( <http://www.ana.co.jp> ) ➡ IR情報 ➡ 決算情報 ➡ 決算短信

## ANAグループ(連結)

本文中の記載金額、数量は表示単位未満の端数を切り捨てております。

### 中間連結株主資本等変動計算書

(単位: 億円)

|                             | 株主資本  |           |           |      |            | 評価・換算差額等         |             |              |                | 少数株主<br>持分 | 純資産<br>合計 |
|-----------------------------|-------|-----------|-----------|------|------------|------------------|-------------|--------------|----------------|------------|-----------|
|                             | 資本金   | 資本<br>剰余金 | 利益<br>剰余金 | 自己株式 | 株主資本<br>合計 | その他有価証券<br>評価差額金 | 繰延ヘッジ<br>損益 | 為替換算<br>調整勘定 | 評価・換算<br>差額等合計 |            |           |
| 2006年3月31日残高                | 1,600 | 1,256     | 526       | 10   | 3,372      | 94               | -           | 3            | 90             | 71         | 3,534     |
| 当中間期中の変動額                   |       |           |           |      |            |                  |             |              |                |            |           |
| 剰余金の配当(注)                   |       |           | 58        |      | 58         |                  |             |              |                |            | 58        |
| 中間純利益                       |       |           | 332       |      | 332        |                  |             |              |                |            | 332       |
| 自己株式の取得                     |       |           |           | 1    | 1          |                  |             |              |                |            | 1         |
| 自己株式の処分                     |       | 1         |           | 5    | 6          |                  |             |              |                |            | 6         |
| 連結範囲の変動                     |       |           | 0         |      | 0          |                  |             |              |                |            | 0         |
| 株主資本以外の項目の<br>当中間期中の変動額(純額) |       |           |           |      |            | 6                | 205         | 3            | 195            | 7          | 203       |
| 当中間期中の変動額合計                 | -     | 1         | 274       | 3    | 279        | 6                | 205         | 3            | 195            | 7          | 482       |
| 2006年9月30日残高                | 1,600 | 1,257     | 801       | 6    | 3,651      | 87               | 205         | 6            | 286            | 78         | 4,016     |

(注) 2006年6月の定時株主総会における利益処分項目

# 中間個別財務諸表

2006年4月1日～2006年9月30日

## ANA(個別)

### 損益計算書

(単位: 億円)

|              | 当中間期<br>(2006年4月1日から<br>2006年9月30日まで) | 前中間期<br>(2005年4月1日から<br>2005年9月30日まで) |
|--------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 営業収入         | 6,488                                 | 5,926                                 |
| 営業費用         | 5,913                                 | 5,331                                 |
| 営業利益         | 575                                   | 594                                   |
| 営業外収益        | 67                                    | 72                                    |
| 営業外費用        | 174                                   | 149                                   |
| 経常利益         | 468                                   | 518                                   |
| 特別利益         | 16                                    | 46                                    |
| 特別損失         | 36                                    | 79                                    |
| 税引前中間純利益     | 448                                   | 484                                   |
| 法人税、住民税及び事業税 | 158                                   | 288                                   |
| 法人税等調整額      | 28                                    | 82                                    |
| 中間純利益        | 261                                   | 279                                   |
| 前期繰越利益       | -                                     | 93                                    |
| 中間未処分利益      | -                                     | 372                                   |

### 貸借対照表

(単位: 億円)

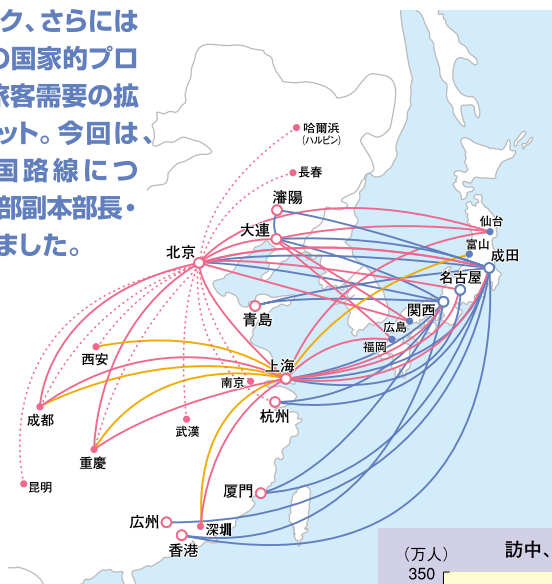
|                   | 当中間期<br>(2006年9月30日現在) | 前期<br>(2006年3月31日現在) |
|-------------------|------------------------|----------------------|
| <b>資産の部</b>       |                        |                      |
| 流動資産              | 4,465                  | 4,545                |
| 固定資産              | 10,431                 | 10,504               |
| 繰延資産              | 5                      | 6                    |
| <b>資産合計</b>       | <b>14,901</b>          | <b>15,056</b>        |
| <b>負債の部</b>       |                        |                      |
| 流動負債              | 3,990                  | 3,987                |
| 固定負債              | 7,178                  | 7,737                |
| <b>負債合計</b>       | <b>11,168</b>          | <b>11,724</b>        |
| <b>資本の部</b>       |                        |                      |
| 資本金               | -                      | 1,600                |
| 資本剰余金             | -                      | 1,253                |
| 利益剰余金             | -                      | 391                  |
| その他有価証券評価差額金      | -                      | 90                   |
| 自己株式              | -                      | 4                    |
| <b>資本合計</b>       | <b>-</b>               | <b>3,331</b>         |
| <b>負債・資本合計</b>    |                        | <b>15,056</b>        |
| <b>純資産の部</b>      |                        |                      |
| <b>株主資本</b>       |                        |                      |
| 資本金               | 1,600                  | -                    |
| 資本剰余金             | 1,253                  | -                    |
| 利益剰余金             | 595                    | -                    |
| 自己株式              | 5                      | -                    |
| <b>株主資本合計</b>     | <b>3,442</b>           | <b>-</b>             |
| <b>評価・換算差額等</b>   |                        |                      |
| その他有価証券評価差額金      | 86                     | -                    |
| 繰延ヘッジ損益           | 204                    | -                    |
| <b>評価・換算差額等合計</b> | <b>290</b>             | <b>-</b>             |
| <b>純資産合計</b>      | <b>3,733</b>           | <b>-</b>             |
| <b>負債純資産合計</b>    | <b>14,901</b>          | <b>-</b>             |

# ANA中国線の新たな戦略

2008年の北京オリンピック、さらには2010年の上海万博などの国家的プロジェクトを控え、飛躍的に旅客需要の拡大が期待される中国マーケット。今回は、著しい成長を見せる中国路線について、針間浩治営業推進本部副本部長・中国室長にインタビューしました。

10/29より関西～上海線が毎日2便運航、11/1より成田～廈門線、成田～青島線が毎日運航に！

— ANAの機材および乗務員での運航便  
— 中国国際航空とのコードシェア便  
— 上海航空とのコードシェア便  
— 中国国際航空との乗り継ぎサービス



——近年、ANAの中国路線が勢いづいていますが、このたびの増便とフライトの現状を教えてください。

**針間** 2006年7月、日中間航空交渉の結果、ANAの中国路線は旅客輸送力で20%増、貨物は倍増となりました。

乗り入れ地点の拡大、さらにコードシェア便の輸送力拡大等で合意し、ANAが中国に直接乗り入れる都市（香港を含む）はこの度の増便を含め9都市、2007年3月には18路線126便になる予定です。コードシェア便は150便、貨物便においては週18便で、10路線を結んでいます。



## Interview

営業推進本部副本部長・中国室長

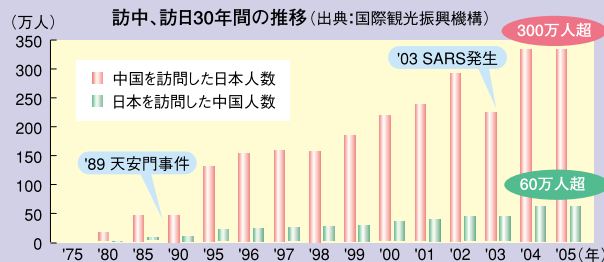
**針間浩治** (はりま こうじ)

### ●Profile

1947年生まれ。1971年ANA入社。東京支店国際販売課長、ワシントン ダレス空港所長、東京支店国際販売部長を経て、2006年4月より現職。

### ANA中国線ヒストリー

- 1972年 8月、羽田～上海間で中国上海舞劇団のチャーター便を日本の航空会社として初めて実施
- 1986年 8月、岡崎元社長が訪中し、李鵬副首相（当時）ほか中国要人と会見  
11月、ANAとして初の中国向け首相チャーター便を羽田～北京間で運航
- 1987年 4月、初の日中間定期路線、成田～大連・北京線就航
- 1993年 3月、成田～上海線就航
- 1994年 9月、関空～青島線就航
- 1995年 7月、関空～上海線就航
- 1998年 5月、関空～天津線就航  
7月、関空～瀋陽線就航、関空～廈門線就航  
成田～青島線就航
- 2002年 4月、成田～廈門線就航 中国路線を倍増！  
成田～北京・上海線をダブルテリリー化
- 2004年 3月、成田～瀋陽線、成田～杭州線、関空～杭州線就航
- 2005年 4月、成田～広州線就航  
5月、名古屋～上海線就航



——来年で中国就航20年とのことですがその間中国マーケットはどのように変化しましたか？

**針間** ANAでは中国にゆかりの深い岡崎嘉平太元社長の90歳の誕生日である1987年4月16日に初の日中定期便、成田～大連・北京線を就航させました。

その後日中間の交流拡大に伴い乗り入れ地点、路線数、便数を増大させてきました。この20年の間、就航2年後には天安門事件、そしてアジア通貨危機。その後SARS・反日デモの発生など実にさまざまなことがありました。時には旅客需要が減じましたが、すぐに回復基調に戻るという潜在需要の底力を感じさせるマーケットです。かつ、需要の伸びが極めて早く、昨年（2005年）は、

中国を訪れた日本人が339万人、逆に日本を訪れた中国人が65万人、あわせて400万人以上の実績がありました。ANAが就航した1987年には訪中日本人は57万人、訪日中国人は7万人に過ぎませんでした。10年前(96年)でも訪中日本人数は150万人、訪日中国人は20万人強でしたからこの10年間だけでも3倍以上伸びている! こういった路線はほかにありません。

#### ——最近の中国への観光需要は?

**針間** 昨年の反日デモ後一時的には低迷しましたが今は完全に回復しています。もともと熟年の方々に人気でしたが最近では若い旅行者の方も増えてきています。

そのようななか、ANAグループでは2004年6月、今後の中国旅行市場の拡大に対応すべく北京に旅行全般を扱う現地法人『全日空国際旅行社(中国)』を設立しました。

#### ——TVCMなどで目にするユニークなキャンペーンの反響はいかがでしょう?

**針間** 2005年春からスタートした『LIVE ★●LIVE/中国/ANA/中国/ANA』キャンペーンは、中国に派遣された特派員が、独自の視点で撮影した映像・写真をそのまま広告に使用するという、斬新なコンセプトが



九寨溝

話題となりました。従来

**NEW**  
**REPORT No.015**

の観光スポットを、飾り立てて表現するのではなく、中国の「今」を旅行者の視点で伝える。しかも『九寨溝』や『海南島』といった今まで日本人に



KONISHIKI夫妻@海南島

はほとんど知られていなかったスポットを次々に発掘、自由旅行(FIT)型の旅行需要を喚起した結果、フレッシュな中国の魅力が伝えられたのだと思います。

#### ——中国人のお客様の利用状況はいかがですか?

**針間** 中国から日本への渡航者は2006年に入ってから、前年の30~40%増と、驚異的に伸びています。これは中国で海外旅行が

自由化され、急速な経済発展によって海外旅行ブームが起こっていることによります。

わが国では全世界から2010年までに『インバウンド1000万人』を目指しています。その内、中国からの訪日客は今と比べほぼ倍増の160万人を見込んでいます。このため昨年7月より中国からの訪日観光団体にかかわるビザ発給対象地域を中国全土に拡大しました。さらに今後、中国から関空や成田を経由して北米に渡る渡航者が加われば、さらなる上乗せも期待できます。現在は米国側が中国からの観光客の受入規制をかけていますが、仮に将来緩和されるようなことになれば、この需要は飛躍的に拡大するでしょう。

#### ——中国内にも格安の航空運賃で攻勢をかけるエアライン(LCC)が台頭する気配ですが…。

**針間** 中国国内線での展開はある程度予測されるものの、直ちに国際線へ進出することは難しいと見ています。サービスの品質面だけでなく、ネットワークや運航頻度を含め、ANA便には十分な競争力があると考えています。ANAのサービス品質は、高い競争力を保持していると自負していますが、時代やお客さまのニーズに応じてよりきめ細かく見直しをしつつ、さらなる品質向上を心がけたいと思います。

#### ——中国線ならではのサービスという点でお聞かせください。

**針間** フライト時間が4時間前後なので、ファーストクラスよりも、ビジネスクラスのグレードアップをという要望がより多く寄せられています。シートピッチ50インチ、微妙な調整ができるリクライニングを備えた

#### ANAハローツアー 特典いっぱいの LIVE/中国/ANAコースをご用意!

「あなただけのLIVEな中国を見つける」そんな新しいコンセプトの魅力いっぱいのコースにはもれなく“CHINAVI BOOK”(※)掲載の特定店舗で使える100元(1400円相当)クーポン付き。さらに、上海への旅行には“CHINAVI WALKIN' MAP”をプレゼント!

※ANAが見つけた中国8都市、雑貨、骨董からレストランまで、およそ170店舗を網羅したお得な特典付きのショップガイド



#### 限りなくファーストを連想させる

#### ビジネスクラス CLUB ANA ♣ Asia

ゆとりのシートピッチ50インチ、シート幅20インチのシートにエンターテインメントを満喫するための多彩なプログラムでゆっくりとしたお時間をご提供!



写真はイメージです

“Club ANA ♣ Asia”はそんな要望にフィットしたのかと…。また和食を中心に日本発では季節を感じられる機内食や、現地でのサポートサービス、携帯電話の貸し出しも好評をいただいております。

#### ——中国路線での他社エアラインとの協力関係はどうなっていますか?

**針間** 中国国際航空や上海航空との営業提携やコードシェア便を設定するなど中国のエアラインとも協力して、ネットワークの拡充に努めています。ちなみに、このエアライン2社は2007年にスターアライアンスに正式加盟予定で、実現すればグローバルアライアンスとしての機能が一段と強化されることは言うまでもありません。

#### ——旅客にとっての利便性、今後さらに向上する可能性は?

**針間** 2007年末、北京空港に新ターミナルがオープンし、スターアライアンスの各社が集結予定です。また、上海(浦東)空港も第2ターミナルビルのオープンにあわせて、ラウンジの共有化をはじめ、内際の乗り継ぎがスムーズになり、中国2大ゲートウェイでのグローバルアライアンス機能、ネットワークともに強化されます。

#### 中国へのご出張、ご赴任を強力サポート!

**ANA中国ビジネスサポートデスク** 0120-029-525  
(9:00~17:00/土・日・祝・年末年始休)  
中国線をご利用いただくお客様に対し、ご出発前からご到着後まで、快適かつ安心してお仕事をさせていただくため、さまざまなお手伝いをいたします。

★日本発で発券されたANA中国線(香港線含む)を大人普通運賃、エコ割運賃およびPEX運賃でご利用のお客様が対象。

**ANA現地アシスタンスサービス(無料)\*、ホテル手配サービス(有料)、観光手配サービス(有料)、中国らくらく乗り継ぎサービス(無料)なども充実!**

※ご利用期間は現地ご到着後90日間



#### ——ますますの成長が期待される中国線で、あえてリスクをあげるとしたら何ですか?

**針間** 日中間の需要はつねに右肩あがり強いものがあり、多少のリスクをはねのけるパワーがあります。反日デモの時はビジネ

ス旅客需要への影響は極めて短期間で回復しました。『ビジネス』、『観光』、そして『貨物』という3つのバランスを考慮して路線を選定し、さらに柔軟な機種投入などで中国市場の成長とリスクに対応してまいります。ただ、中国に特化しているとは言っても、距離が短く機材もコンパクトなので、現在ANA国際線全体の輸送力(座席キロベース)の中で中国線が占める割合はおおよそ22%程度です。

#### ——最後にこれからの市場予測をお願いします。

**針間** IATA(国際航空運送協会)の予測によれば日中間の総旅客流動数は2010年まで毎年平均8.4%程度伸びて、2010年には1,000万人規模になることが見込まれています。ANAが就航20周年を迎える来年は訪中日本人数は400万人と予測されています。ANAでは日中国交正常化35周年を機に開催される国際交流事業への協賛など、積極的に旅客需要を喚起してまいります。また2008年の北京オリンピック、2010年には上海万博など、国家的プロジェクトも控えており、ますますの飛躍が期待されています。

#### ——ありがとうございました。

アジア最大級の国際マラソン大会「北京マラソン」の冠スポンサーを務めるほか、「大連マラソン」、「杭州ウォーク」など国際的なスポーツイベントや文化的な催しにも積極的に協賛し、中国国内でも注目されてきました。



#### 業界初

#### 中国における提携クレジットカード発行(10/18~)

#### 日常生活でANAマイレージクラブのマイルが貯まる

中国籍以外の航空会社として世界で初めて、中国在住または赴任予定のお客様を対象にクレジットカード「ANA CARD全日空信用卡」を発行。ANAマイレージクラブのマイルも積算できます。



## 会社概要 (2006年9月30日現在)

**商号** 全日本空輸株式会社  
 All Nippon Airways Co., Ltd.  
**設立** 1952年12月  
**本社所在地** 東京都港区東新橋一丁目5番2号  
**資本金** 1,600億128万4,228円  
**従業員数** 12,778名

## 役員 (2006年9月30日現在)

**代表取締役会長** 大橋 洋治  
**代表取締役社長** 山元 峯生  
**代表取締役副社長 執行役員** 戸矢 博道  
 大前 傑  
**専務取締役 執行役員** 北林 克比古  
 久保 小七郎  
 伊東 信一郎  
**常務取締役 執行役員** 長瀬 眞  
 森本 光雄  
 日出間 公敬  
**取締役 執行役員** 岡田 圭介  
 野本 明典  
 伊藤 博行  
**取締役** 木村 操(社外) 森 詳介(社外)  
**常勤監査役** 梶田 邦孝(社外) 小野 紘一郎  
 高田 正彦  
**監査役** 松尾 新吾(社外) 南山 英雄(社外)  
**上席執行役員** 日高 誠一郎 大西 準次  
 四十物 実 菊池 克頼  
 牧 信介 山内 純子  
 浅川 修  
**執行役員** 高橋 篤郎 篠辺 修  
 中村 克己 井上 伸一  
 山崎 邦生 浅生 岳  
 軸丸 裕典 竹村 滋幸  
 中村 昭彦 柴田 司  
 丸山 賢二 太田 光彦  
 佐藤 透 丸山 芳範  
 殿元 清司

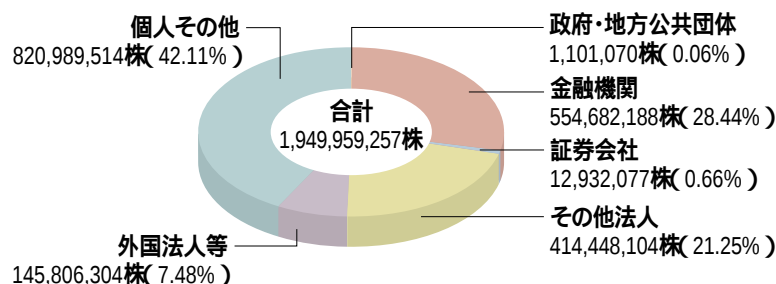
## 株式の状況 (2006年9月30日現在)

**発行可能株式総数** 39億株  
**発行済株式総数** 19億4,995万9,257株  
**株主数** 270,312名(前期末比15,677名減)

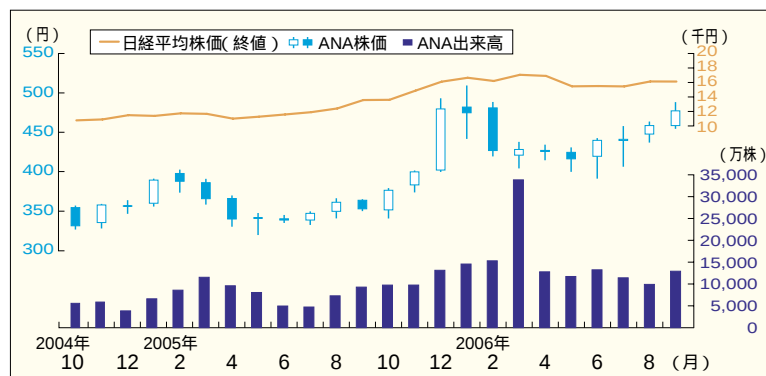
(千株未満切り捨て)

| 大株主 | 株主名                     | 所有株式数    | 持株比率  |
|-----|-------------------------|----------|-------|
|     | 日本ラスティサービス信託銀行株式会社(信託口) | 93,932千株 | 4.82% |
|     | 名古屋鉄道株式会社               | 71,982千株 | 3.69% |
|     | 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 46,541千株 | 2.39% |
|     | 東京海上日動火災保険株式会社          | 43,397千株 | 2.23% |
|     | 三井住友海上火災保険株式会社          | 34,770千株 | 1.78% |
|     | 日本生命保険相互会社              | 30,711千株 | 1.57% |
|     | 全日空社員持株会                | 30,018千株 | 1.54% |
|     | 株式会社三井住友銀行              | 26,820千株 | 1.38% |
|     | 株式会社みずほコーポレート銀行         | 26,753千株 | 1.37% |
|     | 株式会社朝日新聞社               | 24,518千株 | 1.26% |

## 株主別所有株式の状況



## 株価の推移 (2004年10月～2006年9月)



## 情報ダイジェスト

2006年9月～2006年10月

### 9月.....

#### 「ANAマッタリ～ナ ホッコリ～ナ 沖縄・石垣・宮古キャンペーン」を発表(9/21)

本年11月1日～来年3月16日ご出発分まで、沖縄(那覇)空港発着便ネットワークの充実を図るにあわせ秋冬のキャンペーンを展開!



### 10月.....

#### 地域福祉の「赤い羽根共同募金」に協力して45年!(10/1)

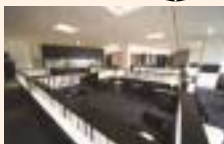
45回目となる今年は、「ふわふわジャンボ」「赤い羽根号」を特別制作したほか、12月末までの募金運動期間中、20機の機体に「赤い羽根」を特別塗装し約13,000便がPR。



「ふわふわジャンボ」「赤い羽根号」

#### 「ANA Lounge」と「able端末」が、グッドデザイン賞を受賞!(10/2)

成田空港第1ターミナルの「ANA Lounge」と、航空券予約システム「able」のプリンターが、2006年度「グッドデザイン賞」を受賞。昨年の国内線一般席の座席の受賞に続いて、2年連続の受賞。



ANA Lounge

#### ANAグループの貨物専用機 第4号機が就航(10/2)

名古屋～シカゴ～関西線の運航を開始。

#### 東京・豊洲の“お仕事体験タウン”「キッズニア」に「空港・飛行機」のパビリオンを出演!(10/5)

ANAパビリオンでは、パイロットや客室乗務員などのお仕事が体験可能!

<http://www.kidzania.jp>



#### 成田～シカゴ線就航!(10/29～)

乗り継ぎ時間を大幅短縮でビジネス、観光のネットワークも充実。

NH12便 毎日 成田 11:10 → シカゴ 7:40  
B777-300ER (NRT) (ORD)

NH11便 毎日 シカゴ 10:45 → 成田 15:00+1  
B777-300ER (ORD) (NRT)



- 事業年度.....毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会.....毎年4月1日から3か月以内に開催
- 基準日.....定時株主総会権利行使確定日 3月31日  
期末配当金受領確定日 3月31日  
中間配当金制度は採用していません。  
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日  
株主優待券割当確定日 毎年3月31日及び9月30日

- 単元株式数.....1,000株

- 株主名簿管理人...住友信託銀行株式会社

- 同事務取扱所.....東京都千代田区丸の内一丁目4番4号

住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先.....〒183-8701東京都府中市日鋼町1番10

電話照会先 [住所変更等用紙のご請求]

(通話料無料) ☎ 0120-175-417(24時間自動音声対応、

12/30 17:00～1/3 24:00休)

[その他のご照会]

☎ 0120-176-417(平日9:00～17:00

土・日・祝・12/31～1/3休)

お届印の変更、名義書換、配当金など、その

他株式に関するお問い合わせも、上記の

[その他のご照会]住友信託銀行株式会

社証券代行部にご連絡ください。

ホームページ .....<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

同取次所.....住友信託銀行株式会社全国本支店

大和証券株式会社全国本支店

日本証券代行株式会社全国本支店

名義書換手数料...無料

- 公告の方法.....当社のホームページに掲載します。

<http://www.ana.co.jp/ir>

ただし、電子公告によることができない事故、

その他やむを得ない事由が生じたときは日本

経済新聞に掲載します。

- 上場証券取引所...東京証券取引所、大阪証券取引所、  
ロンドン証券取引所

- 証券コード .....9202

アンケートにご協力ください

アンケート実施期間 2007年1月5日まで

ご回答いただいた株主様の中から抽選で1,000名様に、ANAオリジナル図書カード(1,000円分)をプレゼントいたします。

URL:[www.kvoice.jp](http://www.kvoice.jp) アクセスナンバー:ご送付の中間報告書をご覧ください。



ANAでは株主の皆様への情報開示の充実に努め、経営をより一層ご理解いただけるIR活動を行っていきたく考えています。つきましてはご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、上記URLよりアンケートサイトにアクセスしていただき、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

集計結果につきましては、「ANA VISION」(第57期第3四半期報告書)誌上にてご報告させていただく予定です。

今回のアンケートは株式会社アイ・アールジャパン( IR活動支援会社 )が運営するWebアンケートシステム「Kvoice」を利用しています。

アンケート終了後、Kvoiceメンバーにご登録いただいた方には上記プレゼントとは別に3人に1人の確率で500円分のクオカードが当たるチャンスがあります。



アンケートに関するお問い合わせ先  
inquiry@kvoice.jp

## 株主インフォメーション

- 株主優待券:2007年3月末1,000株以上ご所有の株主様に2007年5月下旬に発送予定です。
  - 単元未満株式買取・買増請求:お手続きの詳細は、弊社ホームページに掲載しておりますのでご利用ください。  
投資家情報( <http://www.ana.co.jp/ir> )株式情報 - 各種手続きのご案内 - 単元未満株式
- \*買増請求は2007年3月14日～2007年3月31日については受付停止期間となっておりますので、ご注意ください。

上記発送物は株主様のご登録ご住所に発送いたします。お引越しや住居表示(町名や番地など)が変更された場合にはお手続きが必要となりますので、10ページ『株主メモ』の友友信託銀行株式会社証券代行部までご連絡ください。お手続きの用紙をお送りいたします。ご連絡をいただきますと、優待券などの大切な送付物がお届けできなくなりますのでお早めにお手続きください。尚、証券保管振替制度をご利用の場合は、住所変更、買取・買増請求ともにご預託の証券会社へご連絡願います。

全日本空輸株式会社

〒105-7133 東京都港区東新橋一丁目5番2号

総務部 株式担当 ☎03-6735-1001 (受付時間 平日9:00~12:00 / 13:00~17:25 但し金曜日は17:20迄 / 土・日・祝・12/29~1/3休)

ホームページ <http://www.ana.co.jp>



古紙配合率100%再生紙を使用しています